

Wel^{ウェル}なかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第56号

発行 / 2014.6

第3次地域福祉活動計画が できました!



わ和 わ輪 わ話 わっ!!と
みんなで作ろう
支えあいのまち

中川区を、誰もが暮らしやすい福祉のまちにするため、昨年5月から策定作業を続けてきた「第3次地域福祉活動計画 なかがわ福祉まごころプラン3」が完成しました!

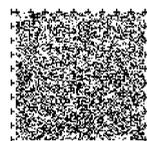
今まで取り組んできた「第1次地域福祉活動計画」(平成16～20年度)、「第2次地域福祉活動計画」(平成21～25年度)を引き継ぐ形で、住民の方々と一緒に作り上げた自信作です!

この計画は、社会福祉協議会が住民の方々と一緒に地域福祉を推進していく計画です。自分たちの住むこの中川区のために、知恵を出しあい、協力しながら、一緒に頑張りましょう。

今号の内容



第3次地域福祉活動計画ができました! 1～3	賛助会員募集	5
平成26年度事業計画・予算	「地域の底力を応援」助成事業の	6
家具転倒防止耐震留具取付	ご案内	
サービスのご案内	共同募金委員会からのお知らせ	6
サマーボランティアスクール募集	寄付のお礼	6



SPコードを載せました。

第3次地域福祉活動計画策定のねらい

平成21年度から5年間取り組んできた第2次地域福祉活動計画の期間が終了しました。この間、我々を取り巻く地域では、社会的孤立、生活困窮、子どもの貧困、虐待、老々介護、認知介護など生活課題がより一層多様化・複雑化し、制度だけでは対応できない人たちが増えてきています。

今回、第3次地域福祉活動計画を策定するにあたり、多くの住民の方に検討の場への参加、アンケートへの協力をいただき、社会福祉関係施設・機関の職員には専門的な見地でのご意見をいただくなど、色々な方々の想いや意見を形にしました。

この計画を実現するために、社会福祉協議会や策定に関わった委員だけでなく、住民の皆さんと一緒に考えながら進めていきたいと思っています。

中川区が、誰もが安心して暮らせる、より住みよいまちなるよう一緒に取り組んでいきましょう！



策定の過程

5～9月 目指す「理想の中川区」の確認

作業部会で出た委員の声と7～8月に行った「地域福祉アンケート」で「理想の中川区」を聞き取り、それを分類・整理して、4つの「基本目標」としてまとめました。

9～12月 理想と現状のギャップを埋める取り組み検討・年次計画づくり

理想に近づくためのアイデア出しをしました。その中から実現可能な具体的な取り組みや実施方法を検討しました。

1～2月 パブリックコメントを受け重点項目の決定

福祉講演会と本会ホームページ上で中間報告をし、この計画に対する意見募集をしました。その意見を受け重点項目を決定し、計画の最終確認と初年度の取り組みを検討しました。

地域のつながりづくり

今、社会的孤立、無縁社会などの言葉が生まれ、ご近所など地域や家族との関係が希薄化していると言われています。このまちで安心して暮らすためには、ご近所同士でお互い支えあい、助けあえるような地域でのつながりを作ることが大切です。人がつながるための「場所」「機会」「仕組み」をつくり、地域の底力でお互いさまの支えあいのまちを作ります。

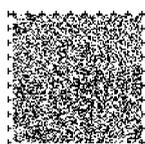
地域の応援団づくり

地域活動を進めるためには、より多くの住民の方に関わっていただくことが大切です。そのために、まずはお互いを知りあい認めあうような機会をつくったり、福祉のまちづくりに関わる人材発掘のための取り組みを進めていきます。

また、中川区は南海トラフなど大地震が来たら被害が大きくなる可能性が高いと言われていますので、自助共助のできるまちづくりを進めます。

地域の社会資源・環境づくり

地域の中には、色々な困りごとを抱えた人がいます。誰もが安心して暮らすためには、住民の力だけでなく、専門職や企業なども得意なところを活かして地域に関わることが大切です。色々な人・団体・ものなどをつなげていき、必要な社会資源を創り出したり活用できるような仕組みを作ります。



4つの基本目標を達成するために、3つの切り口から8つの実施計画、14の実施項目に取り組みます。その中で3つの重点項目には特に力を入れます。



委員からのコメント



- 3つの作業部会で策定されたものが実行され、計画策定に携わって良かったなあという結果が出ればいいなと思います。
- 中川区が優しいまちになるように頑張っていきたいと思います。
- この計画は地域の方々の「住みよいまちになって欲しい」という想いを実現するためのものです。これから目標達成に向け、資源やネットワークを活かし頑張っていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

中川区社会福祉協議会 平成26年度 事業計画

●は賛助会費を財源とした事業です。★は共同募金配分金を財源とした事業です。

①地域福祉推進事業

- ★地域福祉推進協議会活動への助成・支援
- サロン実践者交流会の開催
- ★公開プレゼンテーションによる地域福祉活動への助成

②ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの運営
(ボランティアに関する相談、ボランティア活動保険の受付等)
- サマーボランティアスクールの開催
- ★ 初級手話講座の開催
- 学校等における福祉教育への支援
- 災害ボランティアグループ活動への支援

③高齢者福祉事業

- 名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業の実施
【名古屋市委託事業】
- ★ふれあい給食サービス事業への助成・支援
- ★ひとり暮らし高齢者等に対する
寝具洗濯乾燥サービス事業の実施
- 耐震留具取付サービス事業の実施
- 学区敬老行事への助成
- ★ 老人クラブ実施事業への助成

④障がい者福祉事業

- ★中川区福祉ふれあい広場の開催
- ★障がい者(児)関係団体実施事業への助成
- 障害者地域自立支援協議会への参画

⑤児童福祉事業

- ★子ども会、保育所、留守家庭児童育成会等実施事業への助成
- 子育てサロン・サークル活動への支援
- 子育て支援ネットワーク連絡会への参画

⑥低所得者福祉事業

- 生活福祉資金の貸付【愛知県社協委託事業】

⑦福祉団体への助成事業

- ★民生委員児童委員協議会始め福祉関係団体等実施事業への助成

⑧中川区在宅サービスセンターの運営

- 研修室・ボランティアルームの貸出
- ボランティアルームのコピー機貸出
- 車いす対応車の貸出
- 車いす・福祉用具等の貸出

⑨広報啓発事業

- ★広報誌「Welなかがわ」の発行(年4回)
- ホームページ・ブログ「なかがわ和輪話(わわわ)」の運営
- 福祉講演会(法人化20周年事業)の開催

⑩第3次地域福祉活動計画策定

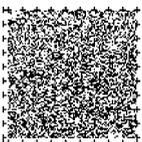
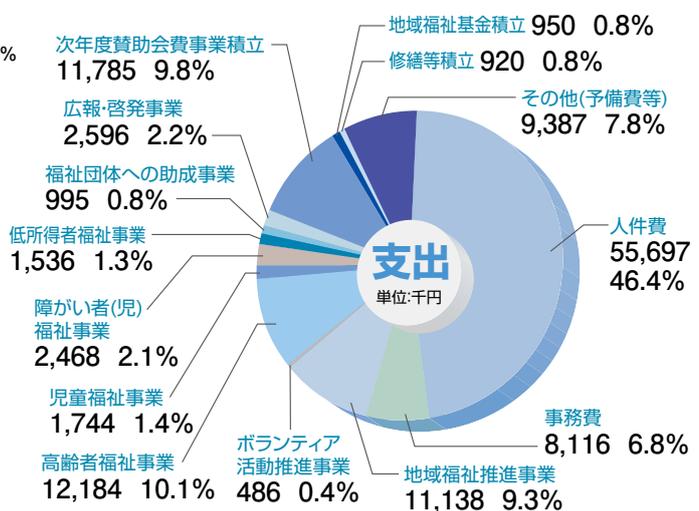
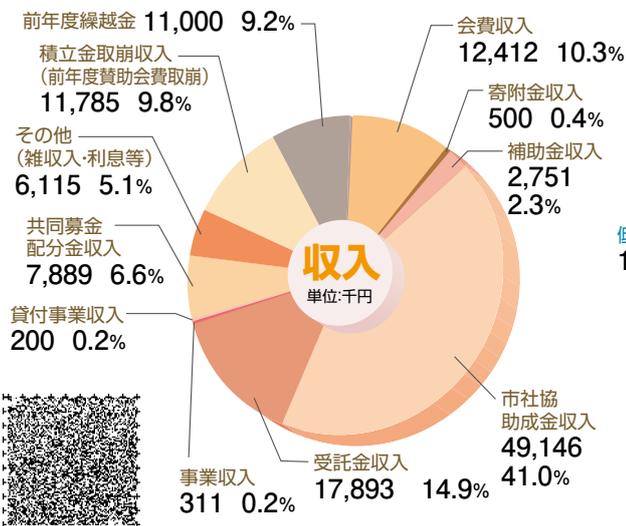
- 「なかがわ福祉まごころプラン3」の実施【新規】

⑪その他の取り組み

- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力
- 中川区西部いきいき支援センター・
中川区介護保険事業所への運営協力

平成26年度 収支予算

総合計 ￥120,002,000円





家具転倒防止耐震留具取付サービス

自分の身は自分で守る!
できるところから大地震への備えをしましょう!

中川区に在住の下記の世帯かつ前年の所得が一人あたり200万円以下の方

対象

- ①65歳以上のひとり暮らし世帯
- ②65歳以上の方のみの世帯
- ③65歳以上の方と障がい者の方のみの世帯
- ④65歳以上の方と18歳未満の方のみの世帯
- ⑤障がい者の方のみの世帯

※対象とならない方でも、(公社)名古屋市シルバー人材センター南部支部で取付をしています(有料)。問い合わせ先の電話番号**671-3161**(見積無料)

取り付け箇所

利用申込者の寝室などにある、災害時危険だと思われる家具で、半日程度の作業で取り付け可能なもの。

費用

工事代は無料。(金具などの材料費は申込者負担)

*地域の皆さまにご協力いただいた賛助会費を財源としています。

申込方法

本会の窓口または電話でお申し込みください。(ただし、土・日・祝日を除く午前9時~午後5時)

学生の皆さん!

夏休みを利用して、ボランティア活動を試みませんか?

サマーボランティアスクール参加者募集!



活動先 区内社会福祉施設(デイサービス・特別養護老人ホームなどの高齢者施設・作業所などの障がい児者施設・保育園などの児童福祉施設)

活動期間 7月22日(火)~8月15日(金)の4週間のうち、原則として同一週の5日間。※第一週目は4日間。

参加対象 中川区内在住または在学の中学生・高校生
連続5日間の活動が可能で、事前研修会(7/18)・事後研修会(8/19)に必ず参加できる方

参加費 無料(ただし、ボランティア保険料250円と交通費・昼食代は各自負担。また、児童福祉施設などで活動する場合は、検便代150円が必要です)。

申込方法 **6月20日(金)までに**、参加募集チラシ添付の所定の参加申込書でお申し込みください。募集チラシは、各学校や社会福祉協議会、区役所などの公所にあります。

平成26年度 賛助会員募集 & 平成25年度 実績報告

中川区社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをすすめるために賛助会員を募集しています。皆さまからご協力いただいた賛助会費は地域の様々な福祉活動に活用させていただきます。

年会費

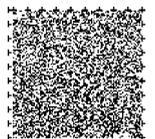
- 個人会員 1口 1,000円
- 法人・団体会員 1口 5,000円

本年度もみなさまのご理解とあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

25年度実績

- 賛助会費収入額 11,784,677円**
- 内訳 個人会員 7,257件 9,712,677円
 - 法人会員 451件 2,072,000円

※賛助会費は強制ではありません。本会趣旨にご賛同いただける皆さまのご協力をお願いいたします。



住民の方が取り組んでいる福祉活動やボランティア活動を応援します!

中川区「地域の底力を応援」助成事業のご案内

- 助成対象** 中川区内で、6ヶ月以上福祉活動に取り組んでいるNPO法人、ボランティアグループ、サロンなど
(本会から他の助成を受けている、または受ける予定の団体は除きます)
- 助成種類** ①**はばたき事業助成**(先駆的・発展的事業助成)……1団体(1事業)あたり 100,000円(上限)
②**ささえあい活動助成**(住民参加型福祉活動助成)……1団体 20,000円(上限)
- 申請方法** **7月7日(月)までに**、所定の様式に必要事項をご記入のうえ必要書類を添えて、中川区社会福祉協議会へお申し込みください。
事業案内や申請書は、社会福祉協議会や区役所などの公所にあります。
また、本会ホームページからダウンロードできます。
- 審査方法** 書類および公開プレゼンテーションによる審査
平成26年7月29日(火) 13:30～ 中川区在宅サービスセンター
※詳細は事業案内をご覧ください。

地域の皆さまからいただいた
共同募金や賛助会費を財源に
実施する事業です。

東日本大震災義援金報告

東日本大震災義援金へのご協力ありがとうございました

共同募金会では2014年3月31日をもって、東日本大震災義援金の受付を終了いたしました。これまでに中川区共同募金委員会に寄せられた募金は、**216件9,242,560円**です。
(平成26年3月31日現在)

お寄せいただいた義援金は、「義援金配分割合決定委員会」の決定に基づき、その全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。

共同募金会では、引き続き、災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)をはじめとする支援を続けていきます。

中央共同募金会ホームページ
<http://www.akaihane.or.jp/er/saigaishien.html>



赤い羽根共同募金

水ヨーヨー風船 お貸しします!

- 対象** 中川区内の地域福祉推進協議会・区内で活動している団体
- 期間** 2週間以内
- 貸出料** 水ヨーヨー風船1組につき20円
※募金箱を設置していただく場合は無料
- 問合せ・申込** 中川区共同募金委員会 (中川区社協内)

地域のお祭りやイベントなどに
ご活用ください!
糸ゴム・パッチン付 ビニールプールも
お貸しします!



「子ども虐待防止世界会議 名古屋2014」に参加しよう!

今年9月14日～17日、日本で初めて、子ども虐待防止に係る国際会議「子ども虐待防止世界会議 名古屋2014」が、名古屋国際会議場で開催されます。
詳細は <http://www.ispcancongress2014.org/> へ

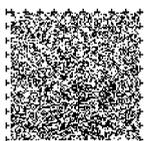
寄付のお礼

- シティコーポ春田駅前 有志 様
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様

寄付金および寄付物品は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



お祝いごとや香典返しにかえての寄付を受け付けております。香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。



編集・発行

社会福祉法人
名古屋市中川区社会福祉協議会
〒454-0875 名古屋市中川区小城町1丁目1-20
(中川区在宅サービスセンター内)
TEL(052)352-8257 FAX(052)352-3825
メールアドレス
nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページ
<http://www.nakagawashakyo.jp>

区内のイベントやボランティア情報案内、研修室の貸出などを行っています。お気軽にお問合せください!



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。

「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。